

倉田源右二門議員



○ 勝山産業フェアについて ○ 家庭ごみの収集日について

そのほかの質問
・新規施策の取り組みについて

一般質問

問 今年度の産業フェアは、多種にわたる企業が参加したことや、うまい企画段階で、勝山市に多様な企業があることや、ユニークなオンライン・ワンド企業があること、県外企業に劣らない先端企業が企業選定に、商工会議所と充分協議をして開催すべきと思う。また、別途開催していい繊維フェアも、合体して開催するほうがよいと思うが、理事者の見解を伺う。

答 勝山市には国内もとより世界で活躍する企業が多数存在している。フェアの体験コーナーでは、普段接することができない市内企業の進んだ技術を体験しように行列ができるところもあった。例年以上に勝山市の産業情報を発信することができたと思う。来年度は、商工会議所と協議し、フェアの狙いを明確にして、勝山の企業の強みやオンライン・ワンド

から、大盛況で非常によかつたと思う。しかし、次年度からは企画段階で、勝山市に多様な企業があることや、ユニークなオンライン・ワンド企業があること、県外企業に劣らない先端企業が企業選定に、商工会議所と充分協議をして開催すべきと思う。また、別途開催していい繊維フェアも、合体して開催するほ

うなどの開催目的や出展企業選定に、商工会議所と充分協議をして開催すべきと思う。また、別途開催していい繊維フェアも、合体して開催するほ

うなどの開催目的や出展企業選定に、商工会議所と充分協議をして開催すべきと思う。また、別途開催していい繊維フェアも、合体して開催するほ

うなどの開催目的や出展企業選定に、商工会議所と充分協議をして開催すべきと思う。また、別途開催していい繊維フェアも、合体して開催するほ

乾 章俊議員



○ 道の駅について ○ デジタル化への積極対応について

一般質問

問 2年後のオープンに向けた諸準備が関係者の想いのなかで進められていることに感謝する。準備の進捗状況、現段階で重要な役割を果たす行政支援について問う。

答 2020年春のオーブンを目指している道の駅については、指定管理者の予定者である勝山市観光まちづくり株式会社とともに、施設に必要な機材や備品等について選定作業を行い、来年度の当初予算へ反映するための準備をしている。

土産物については、商工会議所の協力のもと地元商工業者への説明会を開催していく。農林水産物の出荷・販売運営に関する進捗状況は、先般、出荷者登録説明会を開催した。本説明会には多くの生産者に出席をいただき、農林水産物販売の目的、出荷者登録の概要などについて説明を行った。

行政支援については、指定管理予定者が安定して経営できるように、売れる飲食メニュー作りや商品開発について共同で進めている。

今後は、いたいた意

見・提案を出荷販売など

の管理運営に良い形で反映していかれるよう、指定管理予定者とともに検討していく。

A.I（人工知能）、あらゆるもののがネットにつながるI.O.Tといったデジタル技術がビジネス活動に急速に浸透している。次代を担う世代は、これら新しい技術を学び、それぞれの現場で利活用できることが生きる必要な条件になつてきている。

市として、産業の活性化、生産性の向上につながるデジタル化への積極的、適切な対応強化がとても重要。どのように認識しているのか。また、現状を含め今後の取り組みを問う。

答 市では、先進自治体の視察を行い、事例を研究すると共に、県内の他の市町と共同して、できることについて検討を進めている。

これらのA.Iやロボットの活用事例の検討を重ね、市内産業や市民生活にフィードバックしていきたいと考えている。